

令和6年度太田市指定管理者候補者審査委員会 議事録

- 日 時 令和6年10月15日（火）午前9時から午後5時
10月17日（木）午前9時から午前11時25分
- 場 所 太田市役所12階12E会議室
- 審査事項

○10月15日（火）

- (1) 太田市太田小放課後児童クラブ《公募》
- (2) 太田市九合小放課後児童クラブ及び太田市九合小第2放課後児童クラブ《公募》
- (3) 太田市宝泉小放課後児童クラブ《公募》
- (4) 太田市中央小放課後児童クラブ及び太田市中央小第2放課後児童クラブ《公募》
- (5) 太田市旭小放課後児童クラブ《公募》
- (6) 太田市沢野中央小放課後児童クラブ《公募》
- (7) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ《公募》※(7)、(8)は申請者2名
- (8) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ《公募》
- (9) 太田市城西小放課後児童クラブ及び太田市城西小第2放課後児童クラブ《公募》
- (10) 太田市韮川小放課後児童クラブ及び太田市韮川小第2放課後児童クラブ《公募》
- (11) 太田市駒形小放課後児童クラブ及び太田市駒形小第2放課後児童クラブ《公募》
- (12) 太田市鳥之郷小放課後児童クラブ及び太田市鳥之郷小第2放課後児童クラブ《公募》
- (13) 太田市強戸小放課後児童クラブ及び太田市強戸小第2放課後児童クラブ《公募》
- (14) 太田市休泊小放課後児童クラブ及び太田市休泊小第2放課後児童クラブ《公募》
- (15) 太田市宝泉南小放課後児童クラブ《公募》
- (16) 太田市尾島小放課後児童クラブ及び太田市尾島小第2放課後児童クラブ《公募》
- (17) 太田市尾島児童館《公募》
- (18) 太田市世良田児童館及び太田市世良田児童館放課後児童クラブ《公募》
- (19) 太田市木崎児童館及び太田市木崎児童館放課後児童クラブ《公募》
- (20) 太田市生品児童館及び太田市生品児童館放課後児童クラブ《公募》
- (21) 太田市綿打児童館及び太田市綿打児童館放課後児童クラブ《公募》
- (22) 太田市藪塚本町児童館及び太田市藪塚本町児童館放課後児童クラブ《公募》

○10月17日（木）

- (23) 太田市世良田生涯学習センター《公募》
- (24) 太田市尾島生涯学習センター《公募》※新規
- (25) 太田市高齢者就労促進施設《非公募》※新規
- (26) テクノプラザおおた及びテクノプラザおおた駐車場《非公募》
- (27) 太田市尾島RCスカイポート《非公募》

○ 出席者

委員長 木村 正一

委員 竹沢 悦男、木村 早苗（15日午後のみ）、茂木 真和、亀井 貴文、
高橋 亮、瀬古 茂雄

事務局 矢羽事務局長、齋藤次長、長谷川次長補佐、深須係長代理、阿久津係長代理

所管課

○ 10月15日（火）

- (1) 福祉こども部児童施設課

小池参事、石塚係長、境野係長代理、岩崎係長、皆川係長代理

○ 10月17日（木）

- (2) 地域振興部尾島地区振興課

加山課長、竹内課長補佐、蓮見主任

- (3) 福祉こども部長寿あんしん課

渡辺課長、阿部課長補佐

- (4) 産業環境部産業政策課

伊藤参事、栗田課長補佐、高橋主任

- (5) 産業環境部観光交流課

餘目係長、福嶋主事

公募の申請者

○ 10月15日（火）

- (1) 太田市太田小放課後児童クラブ

・ ひばりクラブ保護者会

- (2) 太田市九合小放課後児童クラブ及び太田市九合小第2放課後児童クラブ

・ 社会福祉法人つくし会※(2)(3)は一括説明

- (3) 太田市宝泉小放課後児童クラブ

・ 社会福祉法人つくし会

- (4) 太田市中心小放課後児童クラブ及び太田市中心小第2放課後児童クラブ

・ 太田市中心小放課後児童クラブ保護者会

- (5) 太田市旭小放課後児童クラブ

・ 太田市旭小放課後児童クラブ保護者会

- (6) 太田市沢野中央小放課後児童クラブ

・ 特定非営利活動法人さくらんぼクラブ※(6)(7)は一括説明

- (7) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ ※(7)(8)は同一クラブに申請者2名

・ 特定非営利活動法人さくらんぼクラブ

- (8) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ

・ 社会福祉法人わかば会※(8)(9)は一括説明

- (9) 太田市城西小放課後児童クラブ及び太田市城西小第2放課後児童クラブ

・ 社会福祉法人わかば会

- (10) 太田市葦川小放課後児童クラブ及び太田市葦川小第2放課後児童クラブ

・ 葦川のびっ子学童クラブ保護者会

- (11) 太田市駒形小放課後児童クラブ及び太田市駒形小第2放課後児童クラブ

・ 学童保育所ペガサスクラブ

- (12) 太田市鳥之郷小放課後児童クラブ及び太田市鳥之郷小第2放課後児童クラブ

・ 社会福祉法人鳥の里会

- (13) 太田市強戸小放課後児童クラブ及び太田市強戸小第2放課後児童クラブ

- ・ 強戸児童クラブ保護者会
- (14) 太田市休泊小放課後児童クラブ及び太田市休泊小第2放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人ならの実会
- (15) 太田市宝泉南小放課後児童クラブ
 - ・ 太田市宝泉南小放課後児童クラブ保護者会
- (16) 太田市尾島小放課後児童クラブ及び太田市尾島小第2放課後児童クラブ
 - ・ 特定非営利活動法人ウイングおじま※(16)(17)は一括説明
- (17) 太田市尾島児童館
 - ・ 特定非営利活動法人ウイングおじま
- (18) 太田市世良田児童館及び太田市世良田児童館放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人長楽福祉会
- (19) 太田市木崎児童館及び太田市木崎児童館放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人木崎育援会
- (20) 太田市生品児童館及び太田市生品児童館放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人育美会
- (21) 太田市綿打児童館及び太田市綿打児童館放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人福育会
- (22) 太田市藪塚本町児童館及び太田市藪塚本町児童館放課後児童クラブ
 - ・ 社会福祉法人善美会

○ 10月17日(木)

- (23) 太田市世良田生涯学習センター
 - ・ 公益社団法人太田市シルバー人材センター※(23)(24)は一括説明
- (24) 太田市尾島生涯学習センター
 - ・ 公益社団法人太田市シルバー人材センター
- (25) 太田市高齢者就労促進施設
 - ・ 公益社団法人太田市シルバー人材センター
- (26) テクノプラザおおた及びテクノプラザおおた駐車場
 - ・ 一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構
- (27) 太田市尾島 RC スカイポート
 - ・ 太田市観光物産協会

1 開会（矢羽事務局長）

それでは、令和6年度太田市指定管理者候補者審査委員会を開会させていただきます。本日は、大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。本年度、事務局長を務めさせていただきます総務部副部長の矢羽と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2 挨拶（木村委員長）

委員長を務めさせていただきます、木村でございます。委員の皆様におかれましては、今回の審査に関し、市が目指す公の施設毎の指定管理の進め方や、実情についてご理解賜っていると同時に、事前に配付してある資料に目を通し、審査会に臨んで頂きありがとうございます。

本年度は審査件数の多い年度となっており、長時間の審査となりますが、ポイントで審査できるよう資料配布をしましたので、よろしくお願いします。

3 本日の審査委員会について（齋藤次長）

4 審査事項（議長：木村委員長）

《(1)～(22) 福祉こども部児童施設課による説明》

【質疑】

Q 1：放課後児童クラブの主な実施事業は学習、遊び、自然体験だと思う。施設ごとに事業の実施状況が異なるようであるが、必須の事業などはあるか。

A 1：基本的に民営であり、事業は地域性やクラブの考えで運営している。63クラブあり、1年に20クラブ程度監査を実施。問題点があれば指摘している。

Q 2：利用者アンケートで、時間中に宿題を終わらせてほしいとの記載があるが、施設によって状況は異なるか。太田市として児童クラブの働き手として推奨している人物像はあるか。

A 2：宿題は退職した教員を採用している児童クラブもあるが、クラブによって異なる。市としては放課後の居場所づくりと考えている。各クラブで知恵を絞って事業を行っている。クラブの職員採用については民営のため、市は求人のサポートとしてホームページで採用募集の有無をクラブに確認し、掲載している。

Q 3：市の支出額がクラブごとに異なるようだが。

A 3：40人単位を一単位。こどもの数35人～45人までの分類は交付金が高いなどあるが、他にも一人当たりの面積や研修などの実績により交付金異なる。交付金については年1回説明会を開催している。

Q 4：交付金で一番差額が出るポイントはあるか。

A 4：運営者の考えが一番ではある。定員数以上に募集するかどうか、指導員の人数など。ただし、太田市としては待機児童を出さないということを第一目標としている。児童数は減少していても共働きは増えている。なるべく待機児童ゼロを目指しており、市からお願いしている部分もある。

Q 5：多くの子どもたちをみていて共通した問題はあるか、どのように管理しているか。

A 5：こどもを預かっているため、虐待・性的被害を防ぐか、運営者がどのような考えを持っ

ているかなどは心配している。

Q 6 : 利用者数もあるが、職員数がかなり違う、コストも異なると思うが。施設の考えであるためか。

A 6 : 国の基準は2人以上の指導員を設けるなどの決まりはある。

Q 7 : クラブで教員資格者を配置しているところもあるようだが。

A 7 : 教員資格者の配置はクラブの判断、運営上問題がなければ特色の範囲と考える。

Q 8 : 市としては利用料9,000円上限としているが、運営の主体は保護者会、法人、NPOなどさまざま。実施事業、利用料金も異なるが、市として上限を定めた時期は。

A 8 : 以前はクラブにより利用料金に差があった。議会で指摘があり、令和3年度から上限を9,000円とした。利用料金以外については保護者会等の了承があれば、おやつ代などは別途集金となっている。

(1) 太田市太田小放課後児童クラブ（公募施設）

《ひばりクラブ保護者会説明による説明》

【質疑】

Q 1 : 役員は1年で交代か、50人くらい在籍しているようだが利用状況はどうか。

A 1 : 役員は1年交代。こどもの数は減少しても利用希望者は増加傾向。審査で落ちる人もいるが、学年によっても異なる。来年度は利用希望者が多い見込み。

Q 2 : コロナが収束したがイベントや行事はコロナ前に戻ったか。

Q 2 : ほぼ戻っているが、旅行などは難しい。コロナ前は夏休みに大型バスを借りて旅行を実施していたが、バス代も高くなり、密室はクラスターの可能性もあるため、再開できていない。

Q 3 : 旅行は宿泊か。

A 3 : 宿泊はしていない。バス旅行の代わりに、電車を利用し、いちご狩りを実施した。

Q 4 : 役員の引継ぎ事項で大事なことは何か。特に注意してもらいたいことは。

A 4 : マニュアルに基づき引継ぎしている。労務士も入って会計もしっかり引き継げるようにしている。

Q 5 : 役員の負担は大きいのか。

A 5 : 会議は1か月に1回だが、会計の負担は大きい。毎月ではないが、年度末になると多忙になる。

Q 6 : 1年ごとの引継ぎで会計の負担も大きいとのこと。利用料については、今後どうなるか。

A 6 : 月1回の会議の中でも担当職員から今のままでは厳しいとの意見があるため、今の役員で話をしているが、来年度の希望者には金額を伝えてしまっているため、来年度最初の総会で値上げを議題にしたいと思う。

Q 7 : 上限9,000円であるが、利用料金はこどもを安心して預けられる環境を維持するために重要な要素。毎年役員が変わっても利用料金変更の議論ができるということであれば、実情に応じた利用料金が良いと思う。

A 7 : 約10年前に値上げをしている。

(2) 太田市九合小放課後児童クラブ及び太田市九合小第2放課後児童クラブ（公募施設）

(3) 太田市宝泉小放課後児童クラブ（公募施設）

《社会福祉法人つくし会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 利用者アンケートの意見・要望時の受付担当職員がいるとのことであるが、改善につながった具体的な事例は。
- A 1 : 保育園運営では制度に基づいた体制を整備している。クラブでは主任指導員が受付者だが、辛い苦情は発生しておらず、正しいことをやる意識でいる。午後7時まで運営し、忙しい保護者にも対応している。
- Q 2 : 保護者からのリクエストで宿題を終わらせてほしいとのことがあるが、限られた時間内ですべての学年で対応できるか。
- A 2 : 声がけはしているが、家庭環境・本人のエネルギー発散方法は色々。保護者からの宿題に関する要望は承知しているが、職員には声がけ程度にするよう指導している。
- Q 3 : 九合小はこどもの人数が多いようであるが何か工夫しているか。
- A 3 : 国が40人定員を推奨していることは承知しており、減らすことはできるかもしれないが、働く保護者にとって、こどもを預ける先がない小1の壁は辛いことだと思っている。定員を超えると補助金は減ってしまうが、要望が多く、応じるようにしている。
- Q 4 : 人数が多いと大変か。
- A 4 : 指導する側は大変。
- Q 5 : 苦情が出ないことは素晴らしい。
- A 5 : 職員がよくやってくれている。
- Q 6 : 心配事はあるか。
- A 6 : 卒園児であればある程度個性が把握できているが、様々なこどもがいる。トラブルになるケースがある。こどもに直接強く注意しにくい世の中の雰囲気があると思う。
- Q 7 : 九合と宝泉と保護者の利用料金が異なる理由は。
- A 7 : 前運営者の利用料金を引き継いでいるため。
- Q 8 : 所管課の管理運営上の評価で管理費用の執行状況が要努力となっている。
- A 8 : 数字としては年々改善されている。
- Q 9 : 九合の利用者数は増えているか。
- A 9 : クラブは需要が増加傾向、保育園はこどもの人数が減少している。

(4) 太田市中央小放課後児童クラブ及び太田市中央小第2放課後児童クラブ太田市旭小放課後児童クラブ（公募施設）

《太田市中央小放課後児童クラブ保護者会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 資料では第2の利用者が減少しているように思われる、要因は。
- A 1 : 児童施設課：実際の児童の在籍人数利用日数を乗じた年間利用者数は延べ人数。
- Q 2 : 使用料収入が令和4年度から減少しているように見えるが。
- A 2 : 児童施設課：使用料収入は令和3年度までが利用料金＋おやつ代。令和4年度以降は利用料金のみとし、上限が9,000円となった。
- Q 3 : 職員数が令和5年度の管理運営状況では4名だが、組織図で4～6名となっている。
- A 3 : 退職者や夏休みの職員配置の関係もある。

- Q 4 : 1 秒でも時間に遅れた場合に時間外保育料が発生するようであるが、トラブルはないか。
- A 4 : 逆に曖昧な時の方がトラブルになった。駐車場には入っていたなど、こちらとの認識にずれがあったが、今の方が保護者からの連絡もあり、問題がなくなった。
- Q 5 : 外国の人もいると思うが言葉の問題などの苦労はあるか、
- A 5 : 日本語が文字で難しい場合は迎えの際に声がけ、翻訳アプリ利用などで説明している。今のところ両親どちらかは日本語がわかるため、トラブルは少ない。
- Q 6 : 保護者会を中心に運営する中で良い面、悪い面は。
- A 6 : よい面は保護者のニーズが運営に反映できること、悪い面はこどもの数に対して支援員の確保が難しいなど。
- Q 7 : 保護者がクラブの運営を手伝うことはあるか、イベント時などの手伝いはどうか。
- A 7 : 基本的にはない。働いている人が利用しているので難しい。イベント時の手伝いなどは、コロナ前あったが、コロナ後難しくなった。会議を開催し、決め事はしている。

(5) 太田市旭小放課後児童クラブ（公募施設）

《太田市旭小放課後児童クラブ保護者会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 役員は 1 年交代か。
- A 1 : そのとおりであるが、今回は継続、兄弟で利用している人もおり、1 年ごとに協議はするが、継続していただいている方もいる。
- Q 2 : 運営していて心配な点はあるか。
- A 2 : 保護者会としても職員の方に安心していただけている。大きなけがなどもない。
- Q 3 : 資料の評価で管理費用の執行状況のみ優良ではないが、要因は。
- A 3 : 児童施設課：繰越金が基準よりも若干多いため。
- Q 4 : 利用料金は、ほかと比べて若干安いと思うが、利用料金を上げる予定はあるか。
- A 4 : 令和 6 年度は上げなかったが、おやつ代、光熱費など値上がりもあり、話し合いをして次年度からは一律で変更する話が年度当初にも出た。
- Q 5 : 働き方の話になるが、人員体制で、一律の労働時間かどうか、1 日何時間か、年間の労働時間が決まっているかなどを教えてください。
- A 5 : 雇用形態により異なる。4 時間半程度、土曜日もあり、交代制。補助の人もある。退職者もいる。
- Q 6 : 人数に対し人件費が安く感じたため、労働時間が気になった。時給が少し安いのでは。1 日 4 時間半は準備時間も含まれているか。
- A 6 : 概ね半数で早番、遅番の勤務で、若干時間をずらして勤務している。

(6) 太田市沢野中央小放課後児童クラブおよび太田市宝泉東小放課後児童クラブ（公募施設）

(7) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ（公募施設）※応募者 2 名

《特定非営利活動法人さくらんぼクラブによる説明》

【質疑】

- Q 1 : 運営していく上での課題は。
- A 1 : 障がい児について、学校で診察を受けることや保護者との面談があるなど障がいの有無

をはっきりさせる傾向があると思う。障がいの受け止め方は保護者により様々。診断をもらっている保護者は予め申し出がある。受入れ後に障がい傾向を感じ、保護者と面談を行うこともある。小学校になるとある程度時間で拘束される。入所説明会の後に半日体験を行い、異年齢で集団生活を体験し問題ないか把握するようにしている。適応が難しいと感じた場合は保護者と面談し、特徴など聞き取り、支援方法を検討している。障がいがあっても保護者がいろいろ経験させたいということであれば、積極的に受け入れている。多動、情緒不安定などに対応する職員は大変だと思う。

Q 2 : 公式LINEを利用しており、メニューがあると思うが、公式LINEで利用者から意見をもらうことになるか。

A 2 : 一斉送信と個人チャットができる。保護者からの質問はクラブとは共有していない、パソコンで管理。相談は個人的なものは受けるが、LINEは行事などの発信が基本。コロナ期間は個人的なチャットで相談を受けていた。

Q 3 : 意見箱の設置はほかでもあるが、デジタルツールの活用は先進的な対応だと思う。環境負荷低減対策のみ評価がやや低い、要因は電気代か、紙資料たくさん使うなどか。

A 3 : 児童施設課：環境負荷低減対策は一律前年度対比で評価を決定している、評価基準については猛暑などの影響もあるため精査していく必要があると感じている。

Q 4 : 今日の説明で職員が転居しても働きたい職場とのことで良好な職場環境であり、こどもにもよい環境だと感じた。管理運営状況の評価も高く、運営に関しても意欲があると思う、今の運営で問題などはあるか、また今回はほかからの応募があったことは承知しているか。

A 4 : 承知している。大きな問題はないと思っている。こちらとしては継続の意欲がある。

Q 5 : 開所は午後7時30分までは長時間だと思うが大変ではないか、利用者の要望か。午後6時30分までのクラブもあると思う。午後7時過ぎで何人くらい残っているか。

A 5 : 残業や遠方の保護者は午後7時30分でもぎりぎり。習い事に通っているこどもが戻ってくる時間の関係もある。19時過ぎで10人以上残っている。夏休み期間は午前8時出勤の保護者であれば午前7時30分には預けないといけない。

Q 6 : 労働条件、最低賃金の関係で時給上がると思う。

A 6 : 最低賃金について、時給職員は対応済み。正規職員は4月に昇給。

Q 7 : 方針にも共感ができ、働きやすい環境が感じられて良かった。勉強は学校でとの方針だが、宿題をクラブの時間内でとの保護者からの要望はないか。

A 7 : 数名の保護者からの要望がある。手洗い、うがい、検温後、宿題の時間はある。学校の教え方もあることや教員ではないため勉強は教えない方針。時間内で必ず宿題又は机に向かう時間は設けている。夏休みは感想文や絵の宿題を自由にできる時間を午前中に1時間程度設け勉強時間としている。ただし、週に1回太陽を浴びる日として外で遊び勉強しない日を設けている。

(8) 太田市宝泉東小放課後児童クラブ※応募者2名

(9) 太田市城西小放課後児童クラブ及び太田市城西小第2放課後児童クラブ

《社会福祉法人わかば会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 太田市宝泉東小放課後児童クラブの申請については、保育園の保護者から要望があったということか。
- A 1 : 城西小学校の指定管理者となったのであれば、宝泉東小学校もお願いしたいという保護者からの要望があった。
- Q 2 : 保護者からの要望はきっかけだと思うが、申請した要因は。
- A 2 : 基本的には保育園運営だけであったが、少しずつ仕組みなども変化しており、やってみようということになり、5年前に城西小学校の指定管理者に申請した。保育園の卒園児は城西小学校以外にも通っている。
- Q 3 : 業務拡大の面もあったのか。
- A 3 : 基本的には法人運営であり、収入面などを考慮すると理事の間では学童の運営は積極的ではない。法人を運営する立場では学童の運営数が多くなると現実に難しいが、すでに運営しているクラブと同じく必要とされているならば手を挙げていこうという考え。
- Q 4 : アピールする点は。
- A 4 : 基本的には夏は子供たちがお弁当を持ってくることは危険でもあるため、食事を作って食べる計画であったが、コロナのため実施できなかった。小学生であれば自分でできるようにやっていきたい。若干の追加を徴収したが、6年生は卒業するにあたってディズニーランドに行く費用は支出できていた。城西小学校については、利用料金にプラスしておやつ代が必要。

(9) 太田市韮川小放課後児童クラブ及び太田市韮川小第2放課後児童クラブ

《韮川のびっ子学童クラブ保護者会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 利用料金の今後の値上げ予定は。十分やっけていけるか。
- A 1 : コロナの影響で事業ができなくなり、500円値下げした。行事が実施できるようになったことなどもあり今後は以前の利用料金に戻すか検討中。
- Q 2 : 令和5年度のディズニー旅行の実施状況はどうか、希望者は多かったか。
- A 2 : 希望者が多く、バスを3台借り上げて実施した。今年度は西武園遊園地にいったが、半数以上の世帯が希望し、同程度の規模で実施した。
- Q 3 : 手作りおやつを取り入れるとのことであるが、再開はしているか。
- A 3 : まだ再開できていない。再開しようと思うタイミングで、コロナやインフルエンザが流行ってしまう。今は主に市販のものとなっている。
- Q 4 : 手作りおやつは、心の豊かさにもつながり良いと思う。コロナ後の学校でこどもたちの体力、心のひずみ、コミュニケーション能力低下などを聞く、ケアをしていく必要があると思うが対策などはあれば教えてもらいたい。
- A 4 : コロナでこどもがストレスを抱えて帰ってくることが多かった。言葉が荒くなる、こども同士厳しく接してしまうなど、家庭環境や学校のできごととは指導員が聞き取りをしたり、遊びの話だけではなく、こどもから状況を聞き出すなど、対応をしている。
- Q 5 : 運営していく中で将来的に注意していくことはあるか。
- A 5 : 働く保護者のこどもを中心に預かっているので、こどもだけではなく保護者の都合も聞きながら運営していきたい。

Q 6 : 2 か所運営している。シフト制で運営していると思うが、夏休み等で利用者増えても対応できているか。難しいとすれば募集しているのか。

A 6 : 求人は検討しているが、求人を出しても応募がない状況や来ても長く続けてもらえない。建物は平屋ではなく 2 階建てで一つのスペースが広くないため、職員が 1 階、2 階、屋外に分かれて対応している。

Q 7 : 要望・改善事項・クレームなどはないか。

A 7 : 小さいものはあるが、その場で対応できている。時間をもらって考えることは会長に連絡し、必要に応じ役員とも協議し、保護者に伝えている。大きな問題はない。

(11) 太田市駒形小放課後児童クラブ及び太田市駒形小第 2 放課後児童クラブ

《学童保育所ペガサスクラブによる説明》

【質疑】

Q 1 : 人件費の面で時間外手当が多いように見えるが、人員不足か。保護者の残業など多少の遅れてもよいなど寛大ではあるが、残業になってしまう。

A 1 : 正直に言うと人手不足は正直なところ、募集はしているがなかなか応募がない。

Q 2 : 人員不足とのこと。児童の安全を守る観点からどのように対策しているか。

A 2 : マニュアルがあり、新人の場合はほかの職員がサポートして、危ないと感じる点はその場で注意している。

Q 3 : いかに全員で情報を共有するか、工夫が必要だと思う。ぜひ心と体を守るように。利用してよかったと思ってもらえるように目標をもってやってもらいたい。

A 3 : 週 1 回ミーティングし、情報共有はしっかり行っている。

Q 4 : 職員の週 1 ミーティング素晴らしい、月 1 回保護者会の出席対象者は。

A 4 : コロナ以降は役員のみ。内容を資料配布で情報共有。

Q 5 : コロナ前は保護者全員対象で実施か。利用者の保護者の参加率は。

A 5 : 対象は保護者全員で、参加率もよかったと記憶している。

Q 6 : コロナで集まらない、再開予定は。

A 6 : 保護者の負担もあるため、迎えの際などこまめにコミュニケーションをとるようにしている。メールなども活用。

Q 7 : 必ずしも戻す必要があるわけではない。苦情もないようなのでケアできていると思う。職員の働きやすい環境、金銭面でも。退職金の積み立ては素晴らしい。利用者に良いサービスを提供できるようにしてもらえれば。役員は 1 年交代か。切り替えはスムーズか。

A 7 : 毎年くじ引き、大変ではある。現会長は 2 年目を引き受けてもらい、安心して運営できている。

(12) 太田市鳥之郷小放課後児童クラブ及び太田市鳥之郷小第 2 放課後児童クラブ

《社会福祉法人鳥の里会による説明》

【質疑】

Q 1 : 基本的な話だが、社会福祉法人のメインの運営はなにか、老人施設などの運営はあるか。

A 1 : こども園、太田市の保育所を委譲された。老人施設の運営はない。

Q 2 : 運営が保護者会から移行されることになると思うが、今までの支援員は継続か。

- A 2 : 全員残ってもらえると聞いている。保護者会の同意が得られ、職員も全員が残ることが事前の話し合いでできていた。
- Q 3 : 新しい運営で今までの経過が分からなくなる、慣れている支援員さんがみられなくなると大変になるのではないかと心配していた。
- A 3 : 今までの良いところは引き継いでいく。
- Q 4 : 手作りおやつも引き継いでいるか。
- A 4 : おやつについては手作り出してほしいという要望ある。コロナの前くらいは手作りだったとのこと。正規職員を増やすなどの対応が必要だと思う。
- Q 5 : 野菜作りも引き継いでいくか。
- A 5 : 畑を借りて継続していく。
- Q 6 : がき大将リフレッシュ工事とは。
- A 6 : 木製の遊具のこと。15年以上前に購入したもので、ささくれを削る、塗装など。
- Q 7 : 資料を見て色々な保護者からリクエストなどができることはオープンでよいことだと思う。利用者と運営者の壁がない。課題などに対処していただいていると思うが、小さなことの重要性、フィルターを通さずダイレクトな意見を聞いて運営していただきたい。
- A 7 : もともと市から保育園運営を引き継いだ際も保護者、地域、こどものためスタートした。メンバーも変わっておらず、その気持ちは今も変わっていない。

(13) 太田市強戸小放課後児童クラブ及び太田市強戸小第2放課後児童クラブ

《強戸児童クラブ保護者会による説明》

【質疑】

- Q 1 : 資料の利用者一人当たりの管理コストが第一と第二で異なる。ほかと比べて管理コストがかかっている理由はあるか。職員が多いような印象がある、配置は多めの方針か。
- A 1 : 正職員は第一にも第二と同様に配置したいが、見つからない。現在研修中。今後、第一も同じになる可能性がある。
- Q 2 : 多いからダメ、ということではない。うまく人員配置して人をやりくりして人件費を合理化するなど。いろいろ考えてやってもらえれば。利用者数について、令和5年度は少なくなっている。
- A 2 : 生徒数が毎年減っている。
- Q 3 : 定員には達していないか。
- A 3 : 達していない。来年度も生徒数は減少傾向。
- Q 4 : 事業計画書の中で緊急時の体制、連絡手段はアプリ、掲示板メール活用していると思う。個人情報保護に関するアプリ・掲示板などはパスワード必要になっているか。
- A 4 : クラブからの配信はパスワードが必要。登録している保護者は個人番号で登録している。保護者以外は登録できない。
- Q 5 : 利用開始時に番号が振られ、利用者が管理する形か。
- A 5 : そのとおり。
- Q 6 : 個人情報の保護の部分は資料で確認するときちゃんと管理されているように思う。先ほどの利用者パスワード以外で職員が使うパソコンのパスワード管理状況は。
- A 6 : パソコンを使用する職員のみで管理している。

Q 7 : U S Bなどの利用や持ち帰りはどのような体制か。

A 7 : 第一、第二のやり取りはあるが、クラブ外の持ち出しはしない。

Q 8 : 入所の際は承諾書を必要としているが、承諾しない人は過去にいたことがあるか。

A 8 : 自分の知る限りではない。

Q 9 : 運営するうえで気を付けている点は。

A 9 : 手作りおやつ再開した。アレルギーに気を付けている。

Q 1 0 : 職員の給料額の端数などがないが、職員の昇給制度はあるか。

A 1 0 : 昨年度の会計が作成した決算書のため詳細のすべては把握していないが、昇給制度はある。

Q 1 1 : コロナ後こどもたちの情緒はどうか。体力的に落ちているなどの話を聞いた。心理面で気になることはあるか。

A 1 1 : 現場で対応しているが、クラブの子どもたちは常時受け入れており、元気に過ごしていた。今でもマスクを外すことを嫌がるこどももいるが、外遊びも活発。学校生活もコロナで変わった。給食時間の黙食など。学童でも飲食時は静かになるが、元気に過ごしている。

(14) 太田市休泊小放課後児童クラブ及び太田市休泊小第2放課後児童クラブ

《社会福祉法人ならの実会による説明》

【質疑】

Q 1 : 保護者会の運営からの変更となるが、職員の雇用はどのようになるか。

A 1 : 継続雇用の予定、今の在り方でしっかり運営できている。現在の運営者の保護者会からもよい職員と聞いている、ご本人が嫌でなければ継続してもらいたい。

Q 2 : 日常のこどもたちの情報を共有できるシステム構築したいとのことなのでぜひ実行してもらいたい。具体的な案はあるか。

A 2 : こども園の運営でも行っているため、施設の状況なども勘案して行いたい。

【意見】

・こどもの数が減って、人件費は最低賃金も上がってきている、学習を充実させるための教員資格者を配置、おやつのグレードを上げるなどすると上限も上げる必要が出てくるのではないかと。保護者会が運営していれば、利用料金は上げない方がよいかもしれないが、運営主体によってはもう少し上限を検討する必要があると思う。

(15) 太田市宝泉南小放課後児童クラブ

《太田市宝泉南小放課後児童クラブ保護者会による説明》

【質疑】

Q 1 : 運営時間は。午後7時過ぎまでにしてほしいなどの要望はあるか。

A 1 : 学校が終わる午後3時から午後6時。延長があれば午後6時45分。今のところ午後7時の要望はない。

Q 2 : 場所は学校内か、教室か。

A 2 : 学校の敷地内の校庭に校舎とは別の建物がある。

Q 3 : 職員の体制について、最低賃金の変更に伴う時給の値上げは予定されているか。

- A 3 : 最低賃金に準じる予定。
- Q 4 : 集計の問題かもしれないが、利用者数が減少しているか。
- A 4 : 応募がなかった。9 月ごろどうするか保護者が悩む。習い事で休めば欠席扱い。
- Q 5 : おやつに関して保護者からの要望の対応はどうしているか。
- A 5 : 今回の件では個々の対応は難しいが、意見は出してもらっている。意見が出せる環境はある。
- Q 6 : トラブルの相談は。
- A 6 : こども同士のちょっとしたけんかなど、個々に対応して収めてもらったことはあると思う。職員がうまくまとめてくれて大きなトラブルにならずに済んでいる。
- Q 7 : 目の端から漏れることがないように対応してもらえれば。職員 1 年目の人もいるが、長く勤務されている方も多い。働きやすい環境で心掛けていることは。
- A 7 : 学生は参加できないが、ミーティングを開催している。2 週間ごとにこどものこととおやつのことなど細かいところを話し合っている。
- Q 8 : 宝泉地区はほかにもクラブがあるが、他との情報交換などの機会はあるか。
- A 8 : 有志の団体に加入し、夜の会議で年数回開催。

(16) 太田市尾島小放課後児童クラブ及び太田市尾島小第 2 放課後児童クラブ

(17) 太田市尾島児童館

《特定非営利活動法人ウイングおじまによる説明》

【質疑】

- Q 1 : 要望・苦情ないとのことであるが、意見箱の設置やメールを設置しているか。
- A 1 : 日々の問題や連絡のない休みの場合などは保護者に話をする。最近好評だったことは県民の日の場合、企業は休みではないため、焼きそばを焼いてお昼にしたこと。苦情も褒められることも些細なことはあるが記載していない。迎えの際は保護者に声がけして密にコミュニケーションをとるようにしている。意見箱はあるが投書はない。家族のように接している。ウイング尾島のコンセプトは一つの大きな家族ということがある。
- Q 2 : 長い間有意義な活動をされている。今後の新たな取り組みの計画はあるか。
- A 2 : NPO 法人として長期間活動し、メンバーも歳を重ね、若い人に引き継いでいく使命を感じている。今までの思いとやってきた実績をどのように伝えていくか。若い人でボランティア精神もあり受けてくれる人もいる。若い人の考えも M I X して、あと 10 年、20 年、オブザーバーとして経験を話して続けていきたい、特に若い両親世代に。尾島は地域のまとまりがあり、地域の助け合いがある。大人になっても尾島に住みたいと思ってもらえるようにしたい。ボランティアに近い形の運営は珍しいのではないかと。NPO 法人として自由が利く面があると思う。自分たちの発想で事業を進めてきた。児童館で幼児英語教室やったのは尾島が初めてだと思う。
- Q 3 : 資料上ではほかの児童館と比べると事業が安価で実施している印象。いろいろな行事やイベントを実施していると思うが。尾島は地域のボランティアでやってもらっている部分があるのか、行事をやっていないということではないということに良かった。
- A 3 : NPO 法人としての支出もある。竹とんぼも自作のものを用意してくれたりしている。景品などは購入ではなくはほとんど手作りで、廃材の再利用や材料を寄付してくれる人

もいる。手作りのため大切にしてくれて昨年の景品を持ってきて見せてくれるこどももいる。細かいところでは裏紙利用をしている。

Q 4 : 児童館はみんなで協力するなど老若男女問わず協力マインドが感じられる。クラブは家庭と一緒にいう運営哲学とのこと。長きにわたり貴重な伝統を作り上げていただいた。後に続く人を信じて今まで培ってきた伝統を絶やすことなく、尾島地区のみならず太田市全体に根付けていただき、若い人にバトンタッチしてもらいたい。

A 4 : 古いトイレがあったところを利用してあずまやを建てた。尾島小のバスを待っている場所として役に立ったり、散歩途中の休憩や社会人がお弁当を食べたりしている。トイレもきれいになり場所が明るく開けた。学校では注意しにくいことなども注意し、保護者にも伝えている。

(18) 太田市世良田児童館及び太田市世良田児童館放課後児童クラブ

《社会福祉法人長楽福祉会による説明》

【質疑】

Q 1 : 児童館と放課後児童クラブだと思うが、児童館を使った放課後児童クラブのメリットデメリットはあるか。

A 1 : もともと児童館の中にクラブ室があったが、スペースが足りなくなり他のところにできた。児童館は午後 4 時過ぎると一般のこどもの利用があり、交流ができてよい。一緒にいることによって友達同士の顔を見て安心できる。預かっているこどもと遊びにきているこどもたちと一緒に遊べないこともあるが、お互い笑顔を交わすなどの場面がみられる。

Q 2 : 児童館利用者が増えているようだが何か取り組みをしたか。

A 2 : コロナで遊具を少なくしていたが、今まで出せなかったものなどを出すなどした。新しく購入した遊具もある。結果的に利用者に好評。

Q 3 : 児童館の利用は地区の人か。太田市内か。

A 3 : 地区内外問わず利用者がいる。

Q 4 : 建物の傷み具合はどうか。

A 4 : 傷んでいる。暑い時期にエアコンが壊れ、市内業者の見積が必要であったり、すぐに交換できなかったが、児童施設課に対応してもらえた。

Q 5 : 緊急時のマニュアルについて、日々変化していく中で見直しはどのようなスパンで行っているか。

A 5 : 尾島は洪水がある地区のため、専門の人に来てもらいマニュアルを作った。足りないところなどはみんなで勉強会を行っている。

Q 6 : 水害がある地域のため、見直しもしてもらえれば。

A 6 : 長楽寺は一段高いため、そこに避難する。園舎も高い位置に建設した。避難訓練も実施している。

Q 7 : 児童館のキラキラフレンズ、キラキラスマイルはどのような事業か。

A 7 : フレンズは登録制で 1 時間、スマイルは登録不要で 30 分。

Q 8 : 乳幼児の親子向け事業は。

A 8 : 地域子育て支援事業として行っているため、内容は同じ。

Q 9 : 見直しを細やかに実施している印象。個人情報保護保険まで加入している。

A 9 : 個人情報に関してはきちんと取り決めをしながらやっていく。

(19) 太田市木崎児童館及び太田市木崎児童館放課後児童クラブ

《社会福祉法人木崎育援会による説明》

【質疑】

Q 1 : 児童館についてアンケートでどのような要望があり、改善を行っているか。

A 1 : 午前中地域の子育て世帯の親子クラブなどが主に利用し、おもちゃを予算範囲内で購入、室内で年齢が異なる幼児が混在するため、マットで年齢の区別できるようにするなどフロア内で安全に利用できるようにした。

Q 2 : 利用時間や人数も増えているため改善はされていると思う。

A 2 : 利用者は新しいものが欲しいという声がある。予算の範囲内で迅速に対応していく。

Q 3 : 給与体系もしっかりしている。事業計画書で、ICTの導入を検討しているとのこと。

A 3 : 保育園で国から補助を利用して登園管理、授業料などを一括管理できるシステムを導入し、保護者は全てスマホで対応。クラブはいきなり導入するのではなく、部分的に無料で利用できるところから始め、登園管理、保護者のメール配信、利用料金などに活用できればよいと考えている。

Q 4 : 児童館・クラブの職員体制は。

A 4 : 常勤職員は児童館とクラブ兼務。比率で児童館 1、クラブ 2。将来的に 1 名若手を入れたい。

(20) 太田市生品児童館・太田市生品児童館放課後児童クラブ

《社会福祉法人育美会による説明》

【質疑】

Q 1 : 児童館を利用するこどもはどのように過ごしているか。本を読むのか。

A 1 : 絵本の読み聞かせを実施している。家庭では YouTube などが主流、保護者もスマホを日常的に利用している。児童館では肉声で、耳に残るような絵本を読んでいる。幼児期を大切にしていきたい。児童館で作ったものに保護者が手を加え、家に持って帰ってもらい点が線になるような事業を意識している。

Q 2 : 生品ではこどもの人口は増えているか。児童館、クラブ利用者が増えているよう、工夫しているサービスあるか。

A 2 : 人口は農村地域なので増えていないと思う。以前よりこどもは減っている。ただ共働きは増えている。保育園を運営しているが、保育園とクラブの利用状況が逆転した。保育園で定員を超えたときもあったが、今はクラブの利用者希望が多い。こどもたちが自分で企画して実行してくることに力を入れている。学校とは違う子供たちの成長の場になってほしいと思っている。

Q 3 : 自分たちでやるということがマニュアルにもあるか、マニュアルがしっかりしており見える化ができています。見直しも実施していると思う、ミーティングなども定期的を実施しているとのこと。

A 3 : 隔週で児童館とクラブで一緒に行い、情報共有もできている。事業の状況確認などいろ

いろいろな意見が出て重要、2時間くらい。

Q 4 : 児童館の利用状況の実態はどうか、週何日の開館か。

A 4 : 日曜日と月曜日が休館。

Q 5 : 平日は学校があると思うが、土曜日は利用者が多いか。

A 5 : 生品だけではなく他市の利用者も来る。生品地区のどこに建設するか議論したが、小学校の近くになった。車で小さいこどもを連れて土曜日に利用する人もいる。平日はひよこひろばを登録して利用している人がいる。コロナで減少したが、徐々に増えている。運動会は駐車場が満車になるくらいの人出があった。

Q 6 : 土曜日の利用者は全体のどれくらいの割合か。

A 6 : 土曜日は乳児が少ない、土曜日は家族で来るが、来館者には波がある。誰も来ないような日もあるが、途切れなく利用者が来館するときもある。小学校でスポーツ少年団をやっている場合は下のこどもを児童館で遊ばせるなど。昔よりは土曜日の利用者減っているが、スポーツクラブの活動などもあることが要因だと思う。

Q 7 : 土日は家で過ごすこともあると思う。

A 7 : 家族で過ごす時間は大切。

(21) 太田市綿打児童館及び太田市綿打児童館放課後児童クラブ

《社会福祉法人福育会による説明》

【質疑】

Q 1 : 児童館の資料を見ると利用者が増えているが何か努力をしているか。

A 1 : 児童館は利用者がコロナで減少していたが、こども園が終わったらきてくれるなどもあった。親子行事は職員が頑張ってくれて、季節行事や農作業など保護者には好評だと思う。クラブのこどもも利用している。

Q 2 : 手狭ではないか。

A 2 : 手狭ではあるが庭も使用できる。いろいろな人が来て楽しめる場所。

Q 3 : クラブは他と比べて少ないと思うが、工夫していることはあるか。

A 3 : 隣接の学童と連携して、おやつを一緒に作って提供するなど協力している。児童館とクラブだけ見ると少なく感じるが隣接の学童と一体でこどもを見ている。

Q 4 : 令和5年度は赤字に見えるが、要因はあるか。

A 4 : 人件費が占める割合が大きい、10年以上勤続している人もいる。職員はしっかり対応してもらっているが、給料面は我慢してもらっている。

Q 5 : 利用料金もやや安い。事業計画書を見ると児童館、学童など運営されているが、クラブの職員の交流やこども同士の交流は。

A 5 : 同じ小学校のこどもでもある。今は地区で分けている。地区で分かれているが、同じ小学校に通っているため行事の共催や児童館の行事に参加するなどの交流がある。職員も毎年異動している。いろいろな学童で避難や子供の対応が異なる。良いところを学んで広めてもらえれば。月1回は打ち合わせで情報共有している。

Q 8 : 職員体制はどうなっているか、児童館とクラブあわせて回しているのか。

A 8 : クラブと児童館でお互いの行事の時は手伝ってもらうなど。一人に負担がかからないようには配慮している。

Q 9 : 児童館の来館者数を考えると今の職員数では大変では。

A 9 : 10年以上勤務している職員もいる。給料面では大卒の一般的な初任給に比べると少ないよう。電気を消すなど節約してやるしかない。

Q 10 : 児童館利用者の年齢制限はあるか。

A 10 : 主に18歳までではあるが、それ以上でも。近くの高校生もボランティアなどで来てくれている。

(22) 太田市藪塚本町児童館・太田市藪塚本町児童館放課後児童クラブ

《社会福祉法人善美会による説明》

【質疑】

Q 1 : 職員の待遇・給与は良いように思う。説明でも人口増加により対象児童も増える中で、職員が継続して面倒を見ていくことで安心できる。待遇の安定、給料アップ、福利厚生も大切だと思うがそのための設定か。

A 1 : そのとおり、最低賃金も改正された。今月から給料も上げる。時給換算して正規職員も上げる。パートが困っているのは103万円の壁など、事業所に社会保険の補助をすることもあるが、働いている人は扶養から外れると困る、労働日数を減らしてもらいたいという要望がある。政府への要望になるが、103万円の壁挙げてもらえれば待遇改善もできる。

Q 2 : 103万円の壁は課題だと思う。

A 2 : パート職員が労働日数を減らすと人手不足になる。

Q 3 : 長い間指定管理をしているが、今度どのようなことに気を付けるか、目標にするか。

A 3 : こどものことでは体力低下を実感している。例えば幼稚園など運営しているが、鉄棒の逆上がりが半数はできない。1年生の最初のころは、散歩にでかけると行きはよいが帰りは座り込んでしまうこどもが多い。保護者と体力をつけるように協議している。学校から帰って宿題する時間を設けるが、やる子もやらない子もいる。宿題は強要したくはないが、終わりにしてもらいたい思いもある。集中して宿題を終わらせることも大切。

Q 4 : 待遇面しっかりしている。賞与を設定など、退職金の積み立てなどは。

A 4 : 退職積み立てしている、常勤は全員。パート職員の退職金制度はないが、勤続年数×係数で上乗せをして支払っている。職員の給料についてはなるべく出したいと思い、パートにも賞与を出している。勤務日数は人に異なり、多少差をつけなくてはいけない。賞与は6月、12月、余剰があれば3月にも出している。

Q 5 : 指定管理制度の関係でできないか企業型確定拠出年金などもあると思うが。

A 5 : 難しい。できるだけ職員に還元できるようにしたい。トータルで超えてはいけない数字がある。常勤については問題ない。

Q 6 : 児童施設課への質問になるが、資料の文言が統一的に感じられるが、ひな形があるのか。

A 6 : 児童施設課：ひな形はない。今後、検討する。

【意見】

- ・こどもなのでいろいろなことがあると思うが、こうしてほしいなどの声を聴きながら対応してもらい、気持ちの良い運営をしていただきたい。
- ・ミーティングなどで情報共有をしっかりともらえるとよい。

- ・こどものストレスなども対処していただき、いじめなどにならないように。心や体力の問題にも気を付けて見守ってもらいたい。こどもの人権をしっかり守ってもらえればよいと思う。
- ・保護者会から運営を引き継ぐ場合は、その間の良さ、特徴は保護者会から引き継いでもらいたい。
- ・学校の敷地外の場合は放課後、こどもが向かう途中の安全面の確保に努め、想定外の事態が発生しないよう万全を期してもらいたい。
- ・コロナ後でこども、気になる子への目配りが重要になってくると思う。学校でのスクールカウンセラーだけでは対応難しい。こどもの心と体をコロナ前に戻せるように。
- ・職員が働きやすい環境を整えていただきたい。
- ・利用者から高評価を得るには働いている人たちが報酬や労働条件でも満足してもらえないと長く続かない。必要に応じて利用料金を見直すなどしてもらいたい。利用者も職員も幸せになれるようにしてもらいたい。

【審査】

- ・得点、基準点、満点は別紙１のとおり
- ・全申請者基準点以上。
- ・２者の申請があった(7)(8)太田市宝泉東小放課後児童クラブについて、特定非営利活動法人さくらんぼクラブ４２０点、社会福祉法人わかば会３７０点のため特定非営利活動法人さくらんぼクラブを全員賛成により、指定管理者候補者に選定することを適当と認める。
- ・全員賛成により、(1)～(6)及び(9)～(22)は別紙１の申請者を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

【１０月１７日（木）】

(23) 太田市世良田生涯学習センター

(24) 太田市尾島生涯学習センター

《地域振興部尾島地区振興課による説明》

【質疑】

Q１：世良田生涯学習センターと尾島生涯学習センターを同時期に指定管理者としなかったのはなぜか。

A１：規模の小さい世良田で運営体制を整えたあとに、規模の大きい尾島も指定管理とすることとしていた。

Q２：アンケートを工夫するとのことであるがどのようにするのか。

Q２：利用報告書の裏面がアンケートとなっていたが、別の方法を検討している。

Q３：利用者は地域限定か。

A３：市内外でも利用ができるが料金に違いがある。

Q４：両施設の改修計画は。

A４：尾島は一旦終了。世良田は今年度図書室の改修と再来年に空調の改修を予定している。

Q５：世良田と尾島で利用者は尾島が世良田の倍程度、総支出は世良田の３倍、特に需用費が高い。

A５：需用費の大半は電気料。尾島は図書館が併設されていることや天井の高いホールの空調設備が大規模なものであることも要因だと思われる。

《公益社団法人太田市シルバー人材センターによる説明》

【質疑】

Q 1 : 会員は登録制か、どのように仕事を割り振るのか。

A 1 : 会員は会費を支払い登録制、経験者など得意分野を考慮し配置している。必要な場合は講習を受講してもらっている。

Q 2 : 仕事の年齢制限はあるか。

A 2 : 年齢の上限はない。

Q 3 : 10月から最低賃金が上がったが対応は。

A 3 : 最低賃金をクリアするようにしている。

Q 4 : 利用者も高齢者が多いのか。

A 4 : 昼間の利用者は高齢者が多い。夜は地域の若い人の場合もある。

Q 5 : シルバー人材で受付業務に従事する方も年齢層が高いのか。

A 5 : 65歳から75歳くらいまでが多い。パソコンを使用するため対応できる人を配置している。

Q 6 : Wi-Fi は太田市のものか。

A 6 : 太田市。施設で契約している。

Q 7 : サイバーセキュリティの面で、日本は脆弱といわれているが、太田市のパソコンやWi-Fiの水際対策はどのようにしているか。

A 7 : 太田市全体の計画の中で実施していると思うので、そのとおり対応する。

Q 8 : 利用者とのトラブルはあるか。

A 8 : 植木の切り過ぎ、時間数トラブルなどはある。お客様にご理解いただくようにしている。

Q 9 : 会員向けの研修はどのように実施しているか。

A 9 : 外部講師を招いて研修している。年配者の言葉遣いなど、毎年実施している。

Q 10 : 人員の配置はどのようにになっているのか。

A 10 : 常時2人。

Q 11 : 清掃も委託の計画となっているようであるが、シルバー人材センターで対応ができるのではないか。

A 11 : 民業圧迫となる場合もある。

Q 12 : 保険料と説明の人数の違いは。

A 12 : 毎月人数の変動があるので契約時の人数。

【意見】

- ・世良田と尾島で支出に大きな違いがある。施設の改修工事などは一過性のものである。ただし、適切な管理をすることのため問題はないと思うが、支出で光熱水費の占める割合が高いため、費用の発生状況を確認しながら、固定費となる光熱水費の削減に努めていきたい。

【審査】

- ・得点、基準点、満点は別紙1のとおり
- ・全申請者基準点以上。
- ・全員賛成により、(23)及び(24)は別紙1の申請者を指定管理者候補者に選定することを

適当と認める。

(25) 高齢者就労促進施設

《福祉こども部長寿あんしん課による説明》

【質疑】

Q 1 : 具体的にどのような施設なのか名称ではわかりにくい。

A 1 : 施設運営だけでなく、就労の相談業務なども行う。

Q 2 : 施設の建設状況は。

A 2 : 今月中に完成予定。

Q 3 : 指定管理の委託料はいくらか、一般市民の利用は可能か。

A 3 : 委託料の支出はなく、2階の部屋は空いていれば1か月前から利用できる。ただし、開館時間のみの利用のため午前8時30分から午後5時15分となる。

《公益社団法人太田市シルバー人材センターによる説明》※新規のため

【質疑】

Q 1 : 接遇研修とは具体的にどのようなものか。

A 1 : 言葉遣いなど。

Q 2 : 施設管理に必要な委託先はどのように決定しているか。

A 2 : 市と同様の方法で実施。

Q 3 : 高齢者の働き方などは今後変わると思うが、働き手の時給を上げることは可能か。

A 3 : 利用料金を維持して、働き手側の時給だけを上げることは難しい。

Q 4 : シルバー人材センターは拠点が2か所から1か所になるメリット、デメリットは。

A 4 : 特別に大きなものはないと思う。

【審査】

- ・ 全員賛成により、公益社団法人太田市シルバー人材センターを指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(26) テクノプラザおおた及びテクノプラザおおた駐車場

《産業環境部産業政策課による説明》

【質疑】

Q 1 : ものづくり研究機構とはどのような組織か。

A 1 : 群馬大学と同じ建物内にあり、市街地の活性化、産学官連携による共同研究開発、人材育成などを目的とした組織。目的に沿って産学官連携による群馬大学、ものづくり研究機構と連携した研究を実施している。市内企業が会員となっており会員向けのスキルアップ研修や群馬県から委託された講座、企業の研究開発を支援している。機構の群馬大学を退職した職員が企業の相談対応を行ったりしている。太陽光発電の事業では民間の屋根を活用して収益を得ている。地域貢献としてはこども向けのサイエンスアカデミーという講座も実施するなど。

Q 2 : 太田市に技術系の高等教育機関がなかった。機械工学、電気工学、自動車工学の研修機関があると地元の製造業の研究開発、金型の知見が広がる、エンジニアリング人材育成が必要だった。産業をサポートし、太田市の企業がメンバーになっている。目立たないが成果は上げていると思うが、具体的な成果は。

A 2 : 群馬大学と協力して学校のエアコンが適温になるようローラワンを活用して管理している。

Q 3 : 群馬大学の学生は。昔は学食があったと思うが、営業しているか。

A 3 : 今は大学院が入っている。食堂は現在は営業しているが、年内で閉店。

Q 4 : 街中のため抜け道として使われ、市営住宅もあり、人流もある。駐車場を利用したところがあるが、1階に一般の利用者の駐車スペースがない。利用者から1階の利用希望はないか。

A 4 : 駐車場に関する苦情はないと聞いている。

Q 5 : 利用者アンケートで口頭で聞き取りとの記載があるが、集計しにくいのでは。

A 5 : 使用報告書にアンケートが書けるようになっている。アンケートに要望があれば速やかに対応している。

Q 6 : 概要調書の駐車場の職員数は駐車場管理専任か、事業計画の勤務体制とは異なると思う。指定管理委託料は毎年変わるか。

A 6 : 駐車場とテクノプラザ兼務。委託料は前回と同額であるが、予算要求時に確認してく。

Q 7 : 施設の利用状況は。

A 7 : コロナ前より増加傾向にあるが、施設の稼働率を上げていくよう、企業にも活用してもらえるように周知していく。

Q 8 : 駐車場は利用者としては1階に駐車したいのではないか。2階以上を定期利用者にして1階を一般利用とした方が利便性は高いのでは。テクノプラザの稼働率を上げてもらえば、駐車場の収益も上がる。1階の定期利用者からは料金を徴収しているのか。

A 8 : している。

【意見】

- ・駐車場の利用については一般の利用者の利便性を考慮してもらいたい。
- ・好立地の施設でもあり、稼働率を上げることで駐車場の利用率も向上する。施設の貸し出しをしていることの周知を積極的に行ってもらいたい。
- ・将来的にはメンテナンス費用も発生する、施設の稼働率を上げてもらいたい。
- ・アカデミックな会議などや勉強会を増やしてもらいたい。

【審査】

- ・全員賛成により、一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(27) 太田市尾島 RC スカイポート

《産業環境部観光交流課による説明》

【質疑】

Q 1 : 11月RC航空ページェントを開催していた。

A 1 : 愛好家が集まって行っていた。数年前は太田市が後援、今は民間で行っている事業で観光物産協会と太田市協賛。

Q 2 : 委託料は。

A 2 : 市からの支出はしていない。

Q 3 : 利用者の利用料金だけか。草刈りが大変では。

A 3 : 年 3 回実施。

Q 4 : 航空ページェント今年は実施なし。数年前は全国からかなりの人数が来ていたと思う。非公募の理由に観光振興の一環としてとの記載があった。今は利用する団体も限られているのではないか。観光振興に役立っているのか、観光振興に位置付けるための新たな対策が必要ではないか。珍しい施設のため有効活用できるよう努めてもらいたい。予約も指定管理者で受けていると思うが、市の施設でもWEB予約できる。難しいと思うが、年 1 回のイベントも開催がないのであれば市が直接管理するのもよいのではないか。難しいと思うが。

A 4 : 太田市はSUBARUがあり、飛行機工場からスタートした企業。昔は富嶽を作って飛ばすイベントもあった、民間と工夫しながら考えていく。

Q 5 : RC スカイポートはドローン飛ばせるか。

A 5 : 現在は断っている。

Q 6 : 今はドローン飛行の需要があるのではないか。観光振興ではないかもしれないが。

A 6 : ドローンの飛行について問い合わせはある。今のところ飛ばせないという話をしているが、需要の高まりは感じている。

Q 7 : スカイポートを拡張・整備してカートを走らせる案も議会で出ていたと思うが。

A 7 : 国との協議も必要になる、今後検討していく。使用報告書にアンケートが書けるようになっていく。アンケートに要望があれば速やかに対応している。

Q 8 : 市の負担がないとのことで、あまり言えないかもしれないが、観光資源として活用していくのであれば、現状維持ではなく、投資も必要ではないか。中島知久平と関連付けなくてもラジコンだけで盛り上がっていたこともあると思う。

A 8 : 観光物産協会事務局は観光交流課が兼ねている。役員と相談しながら進めていく。

Q 8 : ラジコン大会がなければイベントは何をやっているのか。

A 8 : 主なイベントはラジコン大会。

Q 9 : ドローンは河川なら飛ばしやすいと思うが、施設を充実させて観光物産協会として何かやってはどうか。お金は出さない、口は出すというわけにはいかない。

A 9 : コロナで稼働率は低下していたが、盛り返してきた。

Q 10 : 根強いラジコンファンはいる。草刈りの経費はかかる。

A 10 : 雑草は広範囲に生えてしまう。

Q 11 : 以前 RC 航空ページェントに参加した。駐車場から会場まで無料バスが運行していたが、今でもあるか。

A 11 : 昔は市とタイアップしていた事業だったので無料バスがあったが、今はない。

Q 12 : イベントとしてよいものだったと思うが、サービスが悪くなると盛り上がりにもかけられないのではないか。

A 12 : ラジコン飛行機の専門家に委託。今年は委託先が主催するアメリカ大会と日程が近すぎて中止となった。今年は残念だった。

【意見】

- ・施設整備自体は市が行っている、RCスカイポートを観光資源としてレベルアップして集客するのであれば、ドローンも利用可とするか、モトクロスができるようにするなど。河川で自然動物の繁殖問題もあるので整備はした方と思う。関係法令なども踏まえて活用を

検討してもらいたい。

【審査】

・全員賛成により、太田市観光物産協会を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

6 その他

- ・事務局が作成した審査報告書について委員長が確認を行い、委員長から市長に報告する。
- ・市長へ報告後、報告書の写しを委員へ送付する。

7 閉会（矢羽事務局長）

以上をもちまして、令和6年度太田市指定管理者候補者審査委員会を閉会いたします。ありがとうございました。